

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	31 33	現況、入居者様の状態によっては重度、看取りまで行なっているが医療連携加算サービスは行なっていなかった。今回往診医と契約、訪問看護による24時間サービスを1月1日より実施。	医療連携加算サービスを行なうことにより重度な入居者様のケアが職員に求められるようになってくるので職員の質の向上を目標とする。	ホーム内、外における勉強会、研修に職員全員参加、伝達を行なっていく。	早期
2	51	現在月1回「ほほえみ便り」を家族様に送っている。入居者様の日々のご様子、イベントの参加報告など職員一人ひとりが伝えたいこと、感じたこと、家族様へのお願いなどを知らせているが入居者様の手書きの便りが届けられたらと考えている。	今のお客様の状態で書くことが可能か疑問は残るが出来れば毎月一回おくことができるようにする。	本人様が誰に伝えたいか把握し、代筆か本人直筆か一人ひとり検討する。レクリエーションの一環として進めていく。	3ヶ月
3	27	記録に関しては何度も検討して改善しているが夜間の記録に関して内容的に薄いような感がみられる。	誰が見ても解り、ケアプランに反映できる記録を職員全員が記入できるようになる。	職員全員が納得できる記入方法を、何度でも話し合い最良の方法を見出していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。